

今年のテーマ

『Together We Can!』

～希望～

<ふれコンとは?>

障害があってもなくても、コンサートやミュージカルを通して、お互いに交流し、一緒に生きていくことを目指しています。

1年をかけて、オリジナルな『コンサート』と『ミュージカル』を準備し、創る人、演じる人、聴く人、支える人がそれぞれの小さな関わりをつむぎ、お互いを知っていきこの道程がお互いの理解につながっていきます。これがふれコンの魅力。コンサート当日は、その思いを結集し、メッセージとして発信。みんなで盛り上がり、みんなで味わい、その余韻とともに次年度が始まります。

<ふれコンのあゆみ>

1981年の「国際障害者年」に県のイベントとして生まれ、次年度からボランティアによる実行委員会が運営し、今年で42歳!当初は障害者を一般の人が支えることで始まりました。詩や曲の募集、ホールでのコンサートやミュージカルの継続、伝達手段の広がり、インクルーシブ社会への変化を受け、今では、北海道から沖縄までより幅広く参加し、障害のある人もない人も、アマもプロも、人々の中にある垣根を超え、音楽を通して同じ時間と場所を共有するようになりました。

第二部 ミニミュージカル

「ルルの鈴」あらすじ



子供たちが大好きだった子犬のルルは、1人暮らしのおばあさんと暮らしていました。ある時戦争が起こり、ミサイルが町に打ち込まれ、家も焼かれました。おばあさんはルルと逃げ出したのですが離れ離れになり、戦争が終わりおばあさんは町中をルルを探しましたが見つかりませんでした。おばあさんが途方に暮れた時、子供の一人がルルのものらしい鈴のついた赤い首輪を見つけました。その鈴をおばあさんの耳元で振ると、日々記憶がうすれていくおばあさんは、再び可愛かったルルを思い出すのでした。ウクライナに思いを馳せた動物の物語です。

脚本:水木亮 演出・美術・監修:望月純吉(文学座) 音楽:秋和さとる  
ダンス:長瀬節子 衣装:高野晴美

<今年の見どころ>

今年の第1部「オリジナル曲コンサート」では、思わず踊り出したくなるような楽しい曲、じっくりと聞かせる曲など、バラエティーに富んだ曲でお届けします。

第2部では、歌やダンスが大好きなふれコン合唱隊によるミニミュージカル「ルルの鈴」! 現代社会にも通じる問題をテーマにした本作品を、どのように演じるのか?是非ご覧ください。

3年ぶりの有観客開催となる  
「第42回山の都ふれあいコンサート」  
どうぞお楽しみください!

ふれコン公式HP  
[www.furekon.net](http://www.furekon.net)



問い合わせ: 山の都ふれあいコンサート実行委員会  
[info@furekon.net](mailto:info@furekon.net) 080-2055-1121